

SX400 型 & SX900 型
コントローラー
取扱説明書

spirax
/sarco

No.	内容	ページ
1	初めに	3
2	取り付け（外形寸法、パネルカット寸法）	4
3	仕様（パネルへの取り付け要領）	5
4	結線（端子構成）	6
5	前面パネルと操作キー	7
6	モード画面	8
7	設定項目一覧	9
8	「P _n 」パラメーターモード設定	10
9	「S _n 」セットアップモード設定	12
10	「F _n 」ファンクションモード設定	14
11	入力種類一覧表	21
12	圧力制御・温度制御の設定例	22
13	メモリエリア切換機能	26
14	基本的な結線例	27
15	自動送気制御の設定例	28

取扱い上の注意

- ・ 結線は形番と端子番号を本体側面のラベルで確認してから行ない、必ず間違いのないことを確認してください。
- ・ 端子の接続には M3 のねじに適合する圧着端子を使ってください。
- ・ 入出力信号線は動力線や電源線から 50cm 以上離してください。また、同一の配線管やダクト内を通さないで下さい。
- ・ 圧着端子などが隣の端子と接触しないようにしてください。
- ・ 本器に接続する機器または装置は、本器の電源、入出力部の最高使用電圧に適した基礎絶縁が施されているものを使用してください。
- ・ 本器は電源投入後、安定のため最大 6 秒間は機能しないようになっています。その後運転状態に入りますが、規定の精度を満足させるためには、ウォームアップ時間が 30 分以上必要です。

1. 初めに

このたびはSX400型/SX900型コントローラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品を正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読みいただき、ご理解いただいた上で、ご使用ください。本書は、いつもお手元においてご使用ください。

1. 使用上の制限について

本商品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されております。とくに、下記のような安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮していただいた上でご使用ください。

- ・ 人体保護を目的とした安全装置
- ・ 輸送機器の直接制御（走行停止など）
- ・ 航空機
- ・ 宇宙機器
- ・ 原子力機器

など本製品の働きが直接人命に関する用途には使用しないでください。

* 安全上の注意



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。

- ❗ 本器への通電前に配線が正しく行われていることを必ず確認してください。
- ❗ 本器への配線間違いは故障の原因になり、また危険な災害を招く原因にもなります。本器へ結線や取り付け、取り外しは必ず電源の供給元を切った状態で行ってください。感電・故障の原因になります。
- ⚠ 電源端子などの充電部には触らないでください。感電の恐れがあります。
- ⚠ 本器を分解しないでください。感電・故障の恐れがあります。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

- ⚠ キー操作の際には先のとがったもの（シャープペンシルの先や針など）で押さないでください。故障の原因となります。
- ❗ 本器は、仕様に記載された使用条件（温度、湿度、電圧、振動、衝撃、取り付け方向、雰囲気など）の範囲内で使用してください。火災・故障の恐れがあります。
- ⚠ 本器の通風穴をふさがないでください。火災・故障の恐れがあります。
- ❗ 本器への結線は定められた基準に従い、指定された電源、および施工方法で正しく配線してください。火災・感電・故障の恐れがあります。
- ❗ 本器ケース内部に線くず、切り粉、水などが入らないようにしてください。火災・故障の恐れがあります。
- ❗ 端子ねじは仕様に記載されたトルクで確実に締め付けてください。締め付けが不完全だと感電・火災の恐れがあります。本器の未使用端子を中継端子として使用しないでください。感電・火災・故障の恐れがあります。
- ❗ 本器の結線後は端子カバーを取り付けることをお勧めします。感電の恐れがあります。（本器は別売品の端子カバーを用意しています）
- ❗ 本器のリレーは仕様に記載された寿命の範囲内で使用してください。そのまま、使い続けると火災、故障の恐れがあります。
- ❗ 雷サージの恐れのある場合は、サージ防止対策してください。火災・故障の恐れがあります。

2. 取り付け

■ 取り付け場所

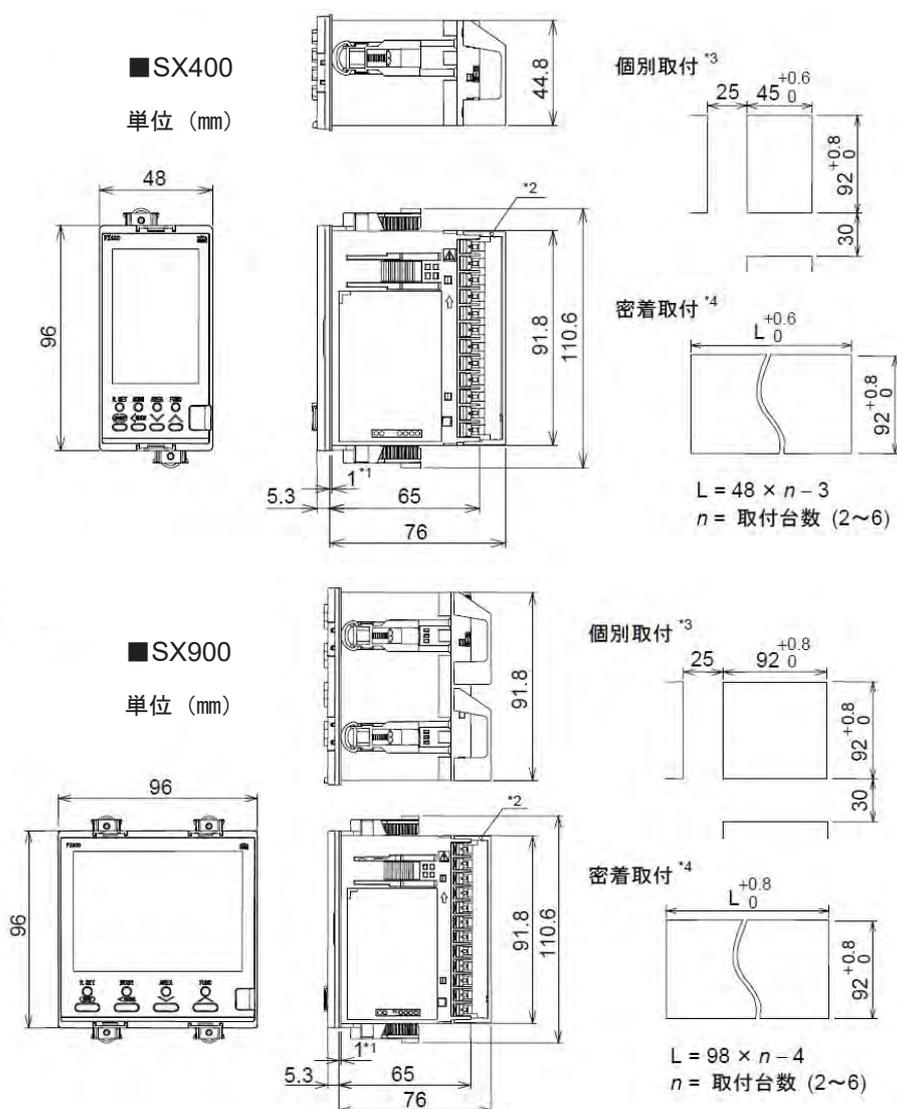
本器を取り付けるときは、次のような所に設置してください。

- ・供給電源およびリレー接点出力を除く入出力のコモンモード電圧：対大地間の電圧は、33Vr.m.s.以下、46.7Vピーク以下、DC70V以下としてください。
- ・高温、低温、高湿度、低湿度にならない所
- ・硫化ガスなど腐食性ガスのない所
- ・粉じん、油煙などの少ない所
- ・直射日光および風雨の当たらないように適切な処理のされた所
- ・機械的振動、衝撃の少ない所
- ・高圧線の下、溶接機の近くおよび電氣的ノイズの発生源の近くでない所
- ・ボイラなどのような高圧点火装置から15m以上離れた所
- ・電磁界の影響の少ない所
- ・可燃性の液体や蒸気のない所

■ 取り付け方法

- ・取り付け角度は水平位置から、後下がり10度以内、後上がり10度以内としてください。
- ・パネルは板厚1~10mmの鋼板をご使用ください。

■ 外径寸法とパネルカット寸法



*1 ケース用パッキン

*2 端子カバー (オプション) 「別売り」

*3 個別取り付けの場合で、パネルに取り付け穴をあける際には、パネルカット面にバリ・ゆがみ、パネルの反りがないように注意してください。パネルカット面にバリ・ゆがみ、パネルの反りがあると、防水性能に悪影響を及ぼす原因になります。

*4 密着取り付けの場合、防水・防塵には対応できませんので、ケース用パッキンは取り外してください。

3. 仕様

● PV入力

入力種類：フルマルチ

※標準出荷時設定は4~20mA 変更可

サンプリング周期：50ms

指示精度：電流 $\pm(0.1\% \text{ of スパン} + 1\text{digit})$

測温抵抗体 $\pm(0.2^\circ\text{C} + \text{digit})$ 200°C未満

$\pm(0.1^\circ\text{C} + \text{digit})$ 0~50°C

● 外部接点入力 (DI)

入力点数：6点

入力形式：無電圧接点

接点OFF抵抗：50k Ω 以上

接点ON抵抗：1k Ω 以下

取り込み判断時間：200ms以内

● リモート設定

入力種類：電流4~20mA または電圧

サンプリング周期：100ms

● 制御出力または伝送出力

・電流出力 OUT1と OUT3 の 2出力

出力形式：DC4~20mAまたは0~20mA (OUT3のみ) 電流出力

許容負荷抵抗：500 Ω 以下

出力精度： $\pm 0.1\% \text{FS}$ (周囲温度 $23 \pm 2^\circ\text{C}$ にて)

● デジタル出力 (D01~D04)

出力点数：無電圧リレー接点出力 4点 4a

接点定格・容量：AC250V/DC30V 1A/0.5A (抵抗負荷)

電氣的寿命：30万回以上 (定格負荷)

機械的寿命：2000万回以上 (開閉頻度300回/分)

● 環境条件

・動作条件

周囲温度：-10~55°C

(密着取り付けの場合は0~40°C)

周囲湿度：5~90%RH (結露なきこと)

定格電源電圧：AC100~240V 50/60Hz

電源電圧範囲：AC85~264V 50/60Hz

● その他仕様

消費電力：11VA以下

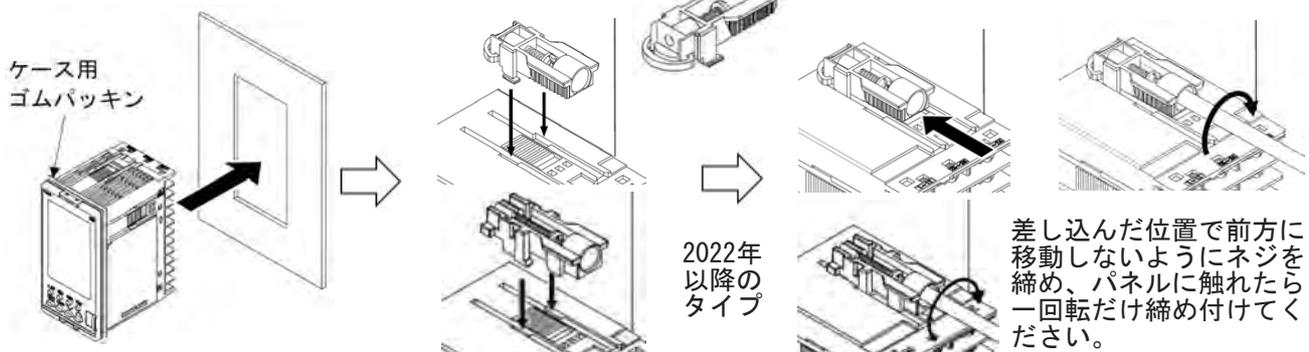
質量：SX400は約221g SX900は約291g

圧着端子：推奨1.25 3N 相当品

端子ねじ締付トルク：0.4N・m以下

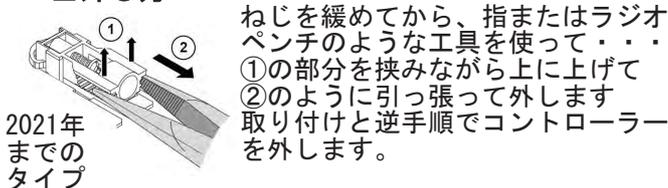
適合規格：EN61010-1、EN61326-1

■ パネルへの取り付け要領 (SX400で図示)

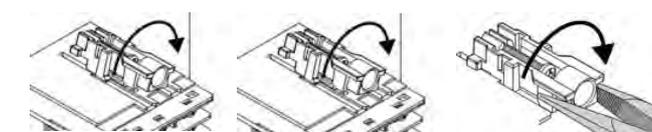


密着取り付けを除いて、シール性向上のためにパッキンを間にに入れて固定してください。最後のドライバーを回して固定する際には、締めすぎないように、がたつかない程度の固定に留めてください。

■ 外し方

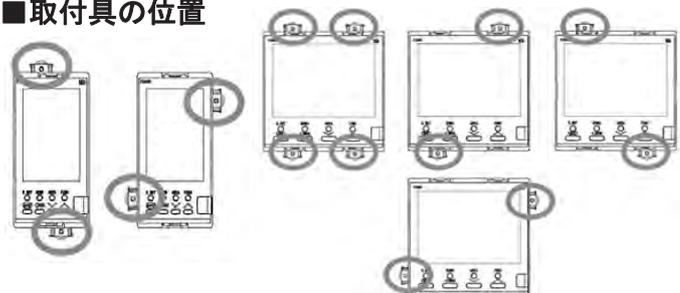


ねじを緩めてから、指またはラジオペンチのような工具を使って・・・
①の部分をつまみながら上に上げて
②のように引っ張って外します
取り付けと逆手順でコントローラを外します。



2022年以降のタイプの場合は、最初にネジを緩めてから取付具の後方をつまみ、横方向に回転させて、取付具をケースから外します。取り外しづらい場合には、ラジオペンチなどの工具を使用してください。

■ 取付具の位置



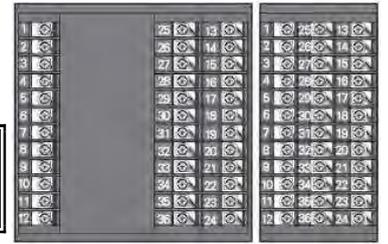
防水・防塵性を重視する場合、取付具は上下に付けてください。また、密着取り付けの場合も、取付具の位置は上下のみとなりますが、標準付属品のパッキンは使えないので、防水・防塵には対応できません。

4. 結線（端子構成）

この製品を操作される方の手が届く範囲に、主電源遮断用のスイッチを設けてください。
また、電源ラインには、定格電流0.5A程度のヒューズを設けてください。

SX900

SX400



※入力種類を測温抵抗体にした状態で、電流・電圧信号を接続しないでください。

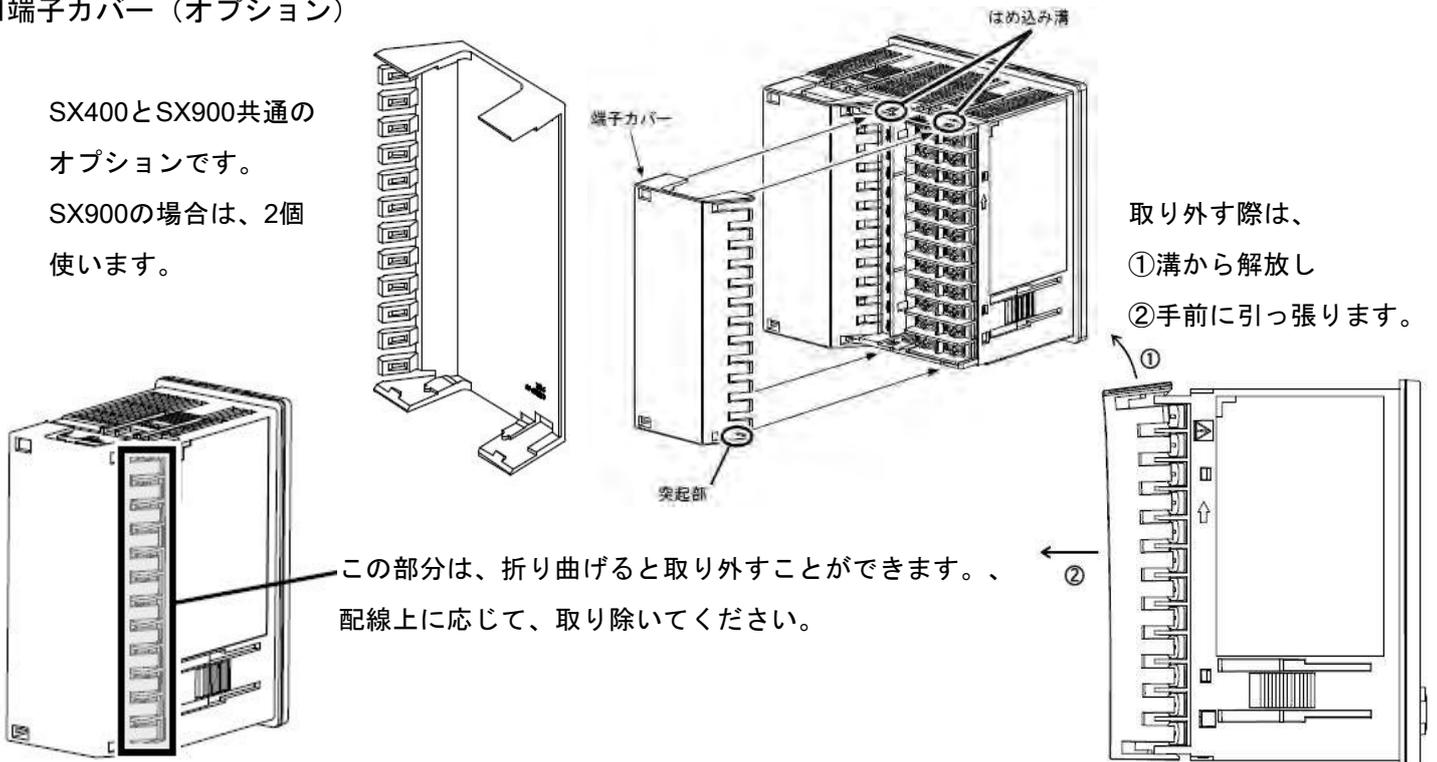
入力回路が壊れることがあります。

の端子は、位置比例仕様の場合です。

端子	内容	端子	内容	端子	内容
1	AC100~240V 電源	25	OUT3:DC4~20mA (DC0~20mA) 標準設定 測定値:PV	13	DO2 : デジタル出力 2
2		26		14	
3	OUT2(非搭載)	27	COM	15	DO3 : デジタル出力 3
4		28		16	
5	OUT1:DC4~20mA	29	DI1	17	DO4 : デジタル出力 4
6		30		18	
7		31	DI2	O W 開度帰還抵抗入力 C (位置比例タイプのみ)	
8		32	DI3		
9	DO1 : デジタル出力 1	33	DI4		
10	入力信号端子	34			
11	標準 : DC4~20mA	35	通信端子(非搭載)		
12		36			
				22	リモート入力 位置比例タイプは 非搭載
				23	標準 : DC4~20mA
				24	

■端子カバー（オプション）

SX400とSX900共通の
オプションです。
SX900の場合は、2個
使います。



この部分は、折り曲げると取り外すことができます。、
配線に応じて、取り除いてください。

取り外す際は、
①溝から解放し
②手前に引っ張ります。

5. 前面パネルと操作キー

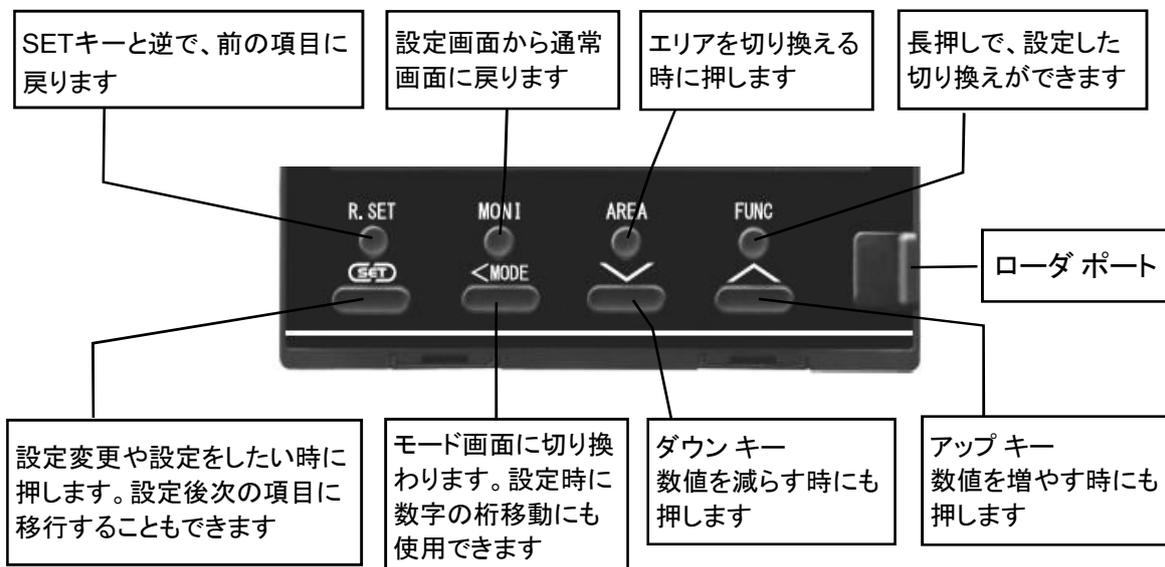


※LED表示とケースの大きさが違うだけで、仕様及び操作方法は全く同じです。



OUT1~OUT3出力表示 DO1~DO4のリレー接点出力ONの時に点灯

※OUT2は、位置比例仕様のタイプのみ点灯します。



6. モード画面

通常画面

<MODE>2秒

SET または <MODE で項目が移行します
アップ・ダウンキーで動作を選択してください。

R/S

ラン rUn / ストップ SToP 切換

※DI機能で切り換える場合はランを選択してください。

ストップを選択すると、DI端子でRUN/STOP切換を選択して、端子をONにしても「SToP」が「HSToP」表示になるだけで、制御可能な状態にはなりません。

* SToP: モード画面で、ストップを選択している時に表示

* HSToP: DI端子の機能選択で、ストップを選択している場合

1. ATU

オート・チューニング(AT)

アップキーでONにするとチューニングを開始します。

1. STU

入力1のスタートアップ・チューニング(ST)

電源ON時、STOPからRUNに切換時、SV変更時にチューニングを実行します。

「off」: 未使用、「on1」: 1回実行、「on2」: 毎回実行。Fn50 で起動条件を選択。

温度上昇時に設定値より低いレベルでチューニングを行います。

※位置比例制御仕様の場合は、この機能はありません。

1. A/M

入力1のオート AOf / マニュアル nAn 切換

※DI機能で切り換える場合はオートを選択してください

R/L

リモート rEn / ローカル LoC 切り換え

L/E

ローカル LoC / エクスターナル EOf 切換

※ Fn23 で、「エリア切換機能」を選択し、「SETなし」を設定した場合に表示。

R/S

RUN / STOP 切換に戻る

7. 設定項目一覧

パラメーターグループ

セットアップモード

※ RUN / STOP で STOP にしないと変更できません

SET 長押し

SET+MODE

SET+MODE 長押し

ファンクショングループ

Pn00 設定値
5H

Sn10 表示更新周期
dSP

Fn10 表示関連
dSP

Fn43 イベント3割付
E43

Pn40 イベント設定
E4 ※割付時に表示

Sn21 入力
1.1 nP

Fn11 キー操作機能
E4Y

Fn44 イベント4割付
E4Y

Pn51 制御動作
1. Conf PID設定

Sn22 リモート設定
2.1 nP

Fn21 入力
1. InP

Fn50 制御種類選択
Conf

Pn70 メモリエリア
ArEA

Sn51 制御動作
1. Conf レベルPID

Fn22 リモート設定
2. InP

Fn51 制御動作
1Conf

Sn53 AT(オート・
1. FunE チューニング)

Fn23 DI 機能選択
di

Fn55 ※位置比例制御
Posi r 仕様の時に表示

Sn55 ※位置比例制御
Posi r 仕様の時に表示

Fn30 OUT機能選択
oUF

Fn57 プロアクティブ
PACr

Sn57 プロアクティブ
PACr

Fn31 伝送出力1
Ao1

Fn58 リモート設定
PACr

Sn91 システム
SYS

Fn33 伝送出力3
Ao3

Fn70 メモリアリア機能
ArEA

Fn34 DO機能選択
do

Fn71 設定リミッタ
1. SBL

Fn41 イベント1割付
E41

Fn91 システム
SYS

Fn42 イベント2割付
E42

8. 「Pn」パラメーターモード設定

SET キー長押し

58	Pn00	設定値	初期値
1.	SV	制御対象の設定値	設定リミッタ下限～上限 設定値

EH	Pn40	イベント	初期値
EV1	イベント1設定値	F _{n41} で動作を割り付けした時に表示	温度: ±10 4-20mA: スパンの ±5%
EV2	イベント2設定値	F _{n42} で動作を割り付けした時に表示	
EV3	イベント3設定値	F _{n43} で動作を割り付けした時に表示	
EV4	イベント4設定値	F _{n44} で動作を割り付けした時に表示	

1. Conf	Pn51	制御動作	初期値
1.	P	比例帯	3.0 <small>温度制御の場合 30</small>
1.	I	積分時間	240
1.	d	微分時間	60
1.	RPF	制御応答パラメータ	0
1.	PRCF	*プロアクティブ強度	2
1.	oLH	出力リミッタ上限	105.0
1.	oLL	出力リミッタ下限	-5.0
※SP7型ポジショナを使用する場合は 0.0 以下に設定しないでください。 推奨値			0.0
1.	LbA	制御ループ断線警報時間	0
1.	Lbd	LBAデッドバンド	0.0

*プロアクティブ強度

オーバーシュート抑制機能のことで、数字が大きくなるほど抑制効果が見込めます。

※データロックモード

SET キー長押しを更に続けるとロックモードに移行します。

LoCK	SET	LCK. LV
oFF → oN		00000 → ①②③④⑤

各桁ごとに 0 = LOCKなし、1 = LOCKを選択できます。

①ファンクションモード

②セットアップモード

③パラメーターモード

④運転切換モード

⑤SV設定モード

アップキーで oN に変更しSETキーを押します。

LOCK中は、SV表示部に鍵のシンボルを表示します。

ダウンキーで oFF に変更しSETキーを押すと

LOCKが無効になり鍵のシンボルが消えます。

選択後SETキーで確定後
MONIキーを押して通常
画面に戻ってください。

<i>AREA</i>	<i>PARAM</i>	メモリエリア機能	初期値
<i>FRGA</i>		エリア切換のトリガ選択	0
		0: 割付なし +1: イベント1 +2: イベント2 +4: イベント3 +8: イベント4 +16: デジタル入力1クローズエッジ +32: デジタル入力1オープンエッジ	
<i>ASG</i>		エリアソーク時間	0:00
		0時間00分00秒～9時間59分59秒 00時間00分～99時間59分 0分00秒～199分59秒 ※時間単位設定による	
<i>LNKA</i>		リンク先エリア番号	0
<i>I. SVRU</i>		設定変化率リミッタ上昇	0
<i>I. SVRD</i>		設定変化率リミッタ下降	0
<i>I. A/MA</i>		オート/マニュアル切換 (エリア)	0
		0: 切換なし 1: オートモード (バンプレス) 2: オートモード (バンプ) 3: マニュアルモード (バンプレス) 4: マニュアルモード (バンプ)	
<i>I. MVA</i>		操作出力値 (エリア)	-5.0
<i>R/LA</i>		リモート/ローカル切換	0
		0: 切換なし 1: ローカル 2: リモート	

9. 「5n」 セットアップモード設定

SET + MODE

dSP	5n 10	ディスプレイ表示	初期値
PV CY		表示更新周期	1
		1:50ms 2:100ms 3:150ms 4:200ms 5:250ms 6:300ms 7:350ms 8:400ms 9:450ms 10:500ms	

1. 1 nP	5n 21	入力	初期値
1. Pb		PVバイアス	0
1. dF		PVデジタルフィルタ	0.0
1. PR		PVレシオ	1.000
1. PLC		低入力カットオフ	0.00

※電流入力で開閉演算機能が有効な時に表示

2. 1 nP	5n 22	リモート設定	初期値
2. Pb		PVバイアス	0
2. dF		PVデジタルフィルタ	0.0
2. PR		PVレシオ	1.000

1. Conf	5n 51	制御動作 (レベルPID設定)	初期値
1. MMV		マニュアル操作出力値	0.0
1. LEV 1		レベルPID設定1	
1. LEV 2		レベルPID設定2	
1. LEV 3		レベルPID設定3	
1. LEV 4		レベルPID設定4	
1. LEV 5		レベルPID設定5	
1. LEV 6		レベルPID設定6	
1. LEV 7		レベルPID設定7	

<i>l. FunE</i>	<i>Sn53</i>	AT (オート・チューニング)	初期値
<i>l. Rfb</i>		ATバイアス 設定範囲：入カスパンによる	0.00
<i>l. RffM</i>		AT残り時間モニタ 0時間00分～48時間00分	0:00
<i>l. FunE</i>		AT/ST状態モニタ 0:AT/ST終了 1:AT実行中 2:ST実行中 -1:設定変更による中止 -2:入力以上による中止 -3:タイムアウトによる中止 -4:定数算出異常による中止	0

<i>Posi f</i>	<i>Sn55</i>	位置比例制御 ※位置比例制御タイプのみ表示	初期値
<i>Ydb</i>		開閉出力中立帯 出力の0.1～10.0%	2.0
<i>YHS</i>		開閉出力動作すきま 出力の0.1～5.0%	1.0

<i>PRCF</i>	<i>Sn57</i>	プロアクティブ	初期値
<i>l. ExdJ</i>		入力の外乱判断点 設定範囲：入カスパンによる	-1

<i>SYS</i>	<i>Sn91</i>	システム	初期値
<i>l. PHLd</i>		ピークホールドモニタ 設定範囲：入カスパンによる	表示のみ
<i>l. bHLd</i>		ボトムホールドモニタ 設定範囲：入カスパンによる	表示のみ
<i>l. HLdR</i>		ホールドリセット <i>HoLd</i> ：ホールド <i>rESEf</i> ：リセット→ホールド状態に戻る	<i>HoLd</i>

10. 「Fn」ファンクションモード設定

SET+MODE 2秒

dSP	Fn ID	表示関連	初期値	
SPCH		STOP表示選択	0:測定値(PV)表示器に表示 1:設定値(SV)表示器に表示 2:操作出力値(MV)表示器に表示	1
ALC		ALMランプ点灯条件 ※設定変更しないでください。	0:OFF 0~4095 +1:イベント1 +2:イベント2 +4:イベント3 +8:イベント4 +16:ヒータ断線警報1(HBA1) +32:ヒータ断線警報2(HBA2) +64:制御ループ断線警報1(LBA1) +128:制御ループ断線警報2(LBA2) +256:入力1の入力異常上限 +512:入力1の入力異常下限 +1024:入力2の入力異常上限 +2048:入力2の入力異常下限	255
dSoP		入力異常時のPV点滅表示	0:入力異常時点滅する 1:入力異常時点滅しない	0
i dSSV		入力1のSV表示/非表示	0:非表示 1:入力1の設定値(SV)表示	1
i dSMV		入力1のMV表示/非表示	0:非表示 1:入力1の操作出力値(MV)表示 2:メモリエリア運転経過時間表示	1
dSMoN		モニタモード非表示選択	0:非表示なし +1:リモート設定入力値モニタ +2:操作出力値(MV)モニタ +8:総合イベント状態 +16:メモリエリア運転経過時間	0
dSMod		運転切換モード非表示選択	0:非表示なし +1:RUN/STOP切換 +2:オートチューニング(AT) +4:スタートアップチューニング(ST) +8:オート/マニュアル切換 +16:リモート/ローカル切換 +32:制御エリアローカル/エクスターナル切換	0

KEY	Fn11	キー操作	初期値
SEFKY		データ確定方式選択	0:SET方式 SETキーで設定値(SV)を確定する 1:ダイレクト方式 SETキーなしで確定する
FNKY		FUNCキー割付	0:機能なし 1:RUN/STOP切換 5:オート/マニュアル切換
FNLYP		FUNCキー操作選択	0:1回押し操作 1:長押し操作

1.1 nP	Fn21	入力	初期値
1.1 NP		入力種類 (21ページ参照)	13: 測温抵抗体 PT100Ω 16: DC4~20mA ※出荷時標準設定
※電流・電圧信号を接続したまま測温抵抗体を選択すると入力回路が壊れることがあります!			
1. UNIF		表示単位	0:°C 1:F (温度制御を選択時に表示)
1. PGdP		小数点位置	0:小数点なし 1:小数点以下1桁 2桁:2 3桁:3 4桁:4
1. PGSH		入レンジ上限	100 温度制御の場合 850
1. PGSL		入レンジ下限	0 温度制御の場合 -200
1. Pdv		入力異常判断点上限	入力異常判断下限~入レンジ上限+入レンジスパンの5% 入レンジ上限+5%
1. PUN		入力異常判断点下限	入レンジ下限-入レンジスパンの5%~入力異常判断上限 入レンジ下限-5%
1. SQR		開平演算 4-20mA入力の時に表示	0:なし 1:あり
1. INV		反転入力 4-20mA入力の時に表示	0:しない 1:する
1 Ndf		入力データタイプ	※設定しないでください

<注意>

※「1.INP」及び「1.UNIT」の値を変更した場合、他の設定の多くが自動で変更や初期化されます。
変更後は必ず全ての設定を確認、再設定の必要があります。

2.1 nP	Fn22	リモート設定	初期値
2.1 NP		入力種類 (21ページ参照)	16: DC4~20mA (設定可能範囲15~24)
2. PGdP		小数点位置	0:小数点なし (出荷時標準設定:0.00~1.00) 1:小数点以下1桁 2桁:2 3桁:3 4桁:4
2. PGSH		入レンジ上限	9999 温度制御の場合 850
2. PGSL		入レンジ下限	-1999 温度制御の場合 -200

di	F _{n23}	デジタル入力	初期値
di SL1		DI1機能選択(設定可能範囲:0~19)	0:機能なし (主な機能のみ記載)
di SL2		DI2機能選択(設定可能範囲:0~14)	1:RUN/STOP切換
di SL3		DI3機能選択(設定可能範囲:0~14)	2:オート/マニュアル切換
di SL4		DI4機能選択(設定可能範囲:0~14)	5:リモート/ローカル切換
di SL5		DI5機能選択(設定可能範囲:0~14)	13:設定データのアンロック/ロック切換
di SL6		DI6機能選択(設定可能範囲:0~14)	14:正動作/逆動作切換
			DI1でのみエリア切換接点機能選択可能 24ページ参照
di INV		DI機能反転	0:反転なし 1:反転あり
di TIM		エリア切換時間	1~5秒(SET信号なしの場合)

oUf	F _{n30}	出力	初期値
oSL1		OUT1機能選択	1:制御出力(加熱側)
			4:伝送出力
oSL3		OUT3機能選択	4:伝送出力
oLG1		OUT1論理演算選択	0:OFF
oLG3		OUT3論理演算選択	0:OFF
EXC		励磁/非励磁選択	0:OFF
ILS		インターロック選択	0:不使用
SS		STOP時の出力動作	0:OFF
			2:伝送出力動作継続
UNI o		OUT3の機能選択	1:電流出力(4~20mA) 2:電流出力(0~20mA)

Ro1	F _{n31}	伝送出力1	※OUT1機能選択で4:伝送出力を選択した時に有効	初期値
Ro1		伝送出力1種類	0:伝送出力なし	0
			1:測定値(PV)	
RHS1		伝送出力1スケール上限	入力レンジの上限~入力レンジの下限	100
				温度制御の場合 850
ALS1		伝送出力1スケール下限	※入力レンジを右記の変更初期値以下に設定すると、連動し変更されます。	0
				温度制御の場合 -200

Ro3	F _{n33}	伝送出力3	OUT3機能選択で4:伝送出力を選択した時に有効	初期値
Ro3		伝送出力3種類	0:伝送出力なし	1
			1:測定値(PV)	
			2:操作出力値(制御信号が2つになる)	
RHS3		伝送出力3スケール上限	入力レンジの上限~入力レンジの下限	100
				温度制御の場合 850
ALS3		伝送出力3スケール下限	※入力レンジを右記の変更初期値以下に設定すると、連動し変更されます。	0
				温度制御の場合 -200

do	Fn34	デジタル出力	※このグループは設定変更しないでください。	初期値
doSL1		D01機能選択	0: 割付なし	1
doSL2		D02機能選択	1: 論理演算出力 (イベント、入力異常)	1
doSL3		D03機能選択		1
doSL4		D04機能選択		1
doLG1		D01論理演算選択	1: イベント1	1
doLG2		D02論理演算選択	2: イベント2	2
doLG3		D03論理演算選択	4: イベント3	4
doLG4		D04論理演算選択	8: イベント4	8

EH	Fn41	イベント1		初期値
ES1		イベント1種類	0: イベント機能なし 1: 上限偏差 (SVモニタ値使用) 2: 下限偏差 (SVモニタ値使用) 3: 上下限偏差 (SVモニタ値使用) 4: 範囲内偏差 (SVモニタ値使用) 5: 上下限 (個別設定) 偏差 (SVモニタ値使用) 6: 範囲内 (個別設定) 偏差 (SVモニタ値使用) 7: 上限設定値 (SVモニタ値使用) 8: 下限設定値 (SVモニタ値使用) 9: 上限入力値 10: 下限入力値 11: 上限偏差 (ローカルSV値使用) 12: 下限偏差 (ローカルSV値使用) 13: 上下限偏差 (ローカルSV値使用) 14: 範囲内偏差 (ローカルSV値使用) 15: 上下限 (個別設定) 偏差 (ローカルSV値使用) 16: 範囲内 (個別設定) 偏差 (ローカルSV値使用) 17: 上限設定値 (ローカルSV値使用) 18: 下限設定値 (ローカルSV値使用) 23: 上下限 (個別設定) 入力値 24: 範囲内 (個別設定) 入力値	1
EHo1		イベント1待機動作	0: 待機なし 1: 待機あり 2: 再待機あり	0
EH1		イベント1動作すきま (ヒステリシス)	入力によって違う	0.2
EVF1		イベント1タイマ	0.0~600.0秒	0.0

※ SVモニタ : Pn70 で設定変化率リミッタ設定を使用している時には、変化しているSV値に追従
Fn70 の設定変化率リミッタ時間も参照ください。

ローカルSV値 : 設定変更したSV値に追従

設定変化率リミッタを使用する/しないに関係なく同じ動作になります。

<i>Eh2</i>	<i>Fn42</i>	イベント2	※種類及び動作すきまはイベント1を参照	初期値
<i>ES2</i>		イベント2種類	0: イベント機能なし	0
<i>EHo2</i>		イベント2待機動作	0: 待機なし	0
<i>EH2</i>		イベント2動作すきま	入力によって違う	1
				温度制御の場合 2
<i>EVf2</i>		イベント2タイマ	0.0~600.0秒	0.0

<i>Eh3</i>	<i>Fn43</i>	イベント3	※種類及び動作すきまはイベント1を参照	初期値
<i>ES3</i>		イベント3種類	0: イベント機能なし	0
<i>EHo3</i>		イベント3待機動作	0: 待機なし	0
<i>EH3</i>		イベント3動作すきま	入力によって違う	1
				温度制御の場合 2
<i>EVf3</i>		イベント3タイマ	0.0~600.0秒	0.0

<i>Eh4</i>	<i>Fn44</i>	イベント4	※種類及び動作すきまはイベント1を参照	初期値
<i>ES4</i>		イベント4種類	0: イベント機能なし	0
<i>EHo4</i>		イベント4待機動作	0: 待機なし	0
<i>EH4</i>		イベント4動作すきま	入力によって違う	1
				温度制御の場合 2
<i>EVf4</i>		イベント4タイマ	0.0~600.0秒	0.0

<i>Conf</i>	<i>Fn50</i>	制御		初期値
<i>Pb</i>		ホット/コールドスタート * 停電から復電した時の出力	0: ホットスタート1 * 停電前と同じ 1: ホットスタート2 * 制御演算結果の値 2: コールドスタート * 出力リミッタ下限値 3: STOPスタート * STOP時の操作出力値	0
<i>MVf5</i>		マニュアル操作出力値	0: 直前の操作出力値(バランスレス・バンプレス) 1: マニュアル操作出力値 <i>Sn51</i> で出力値設定	0
<i>FRK</i>		SVトラッキング * 切り換え時にSV値を追従させる	0: SVトラッキングなし 1: リモート/ローカル切替時 2: オート/マニュアル切替時	1
<i>IdP</i>		積分/微分時間の小数点位置	0: 小数点なし 1: 小数点以下1桁 2: 小数点以下2桁	0
<i>Sf5</i>		ST起動条件	0: 電源ON時、STOP→RUN切替時、SV変更時 1: 電源ON時、STOP→RUN切替時 2: 設定値(SV)変更時	0

<i>l. Conf</i>	<i>FnS1</i>	制御動作	初期値	
<i>l. oS</i>		制御動作	0:ブリリアントII PID制御(正動作) 1:ブリリアントII PID制御(逆動作) 5:ブリリアントII 位置比例PID制御(逆動作) 6:ブリリアントII 位置比例PID制御(正動作)	1
<i>l. oRU</i>		出力変化率リミッタ上昇	操作出力の0.0~100.0%/秒 0.0:機能なし	0.0
<i>l. oRD</i>		出力変化率リミッタ下降	操作出力の0.0~100.0%/秒 0.0:機能なし	0.0
<i>l. RoVE</i>		入力異常時動作上限	0:制御続行(現状の出力)	2
<i>l. RuNE</i>		入力異常時動作下限	1:入力異常時の操作出力(マニュアルモード) 2:入力異常時の操作出力(オートモード)	2
<i>l. PSM</i>		入力異常時操作出力値	PID制御、位置比例PIDの場合 -5.0~105.0% ※SP7型ポジションナを使用する場合は 0.0 以下に設定しないでください。 推奨値	初期値 -5.0 0.0
<i>l. RMV</i>		STOP時操作出力値	-5.0~105.0% ※SP7型ポジションナを使用する場合は 0.0 以下に設定しないでください。 推奨値	初期値 -5.0 0.0
<i>l. PdA</i>		スタート判断点	0~入カスパン	入カスパンの 3%
<i>l. LPI d</i>		レベルPID動作選択	0:メモリエリア番号による切換 1:設定値(SV)による切換:レベルPID動作 2:測定値(PV)による切換:レベルPID動作	0
<i>l. LHS</i>		レベルPID動作すきま	0~入カスパン	入カスパンの 0.2%

<i>Posi f</i>	<i>FnSS</i>	位置比例制御 ※位置制御の場合のみ	初期値	
<i>yBR</i>		開度帰還抵抗の 断線時の動作	0:STOP時のバルブ動作設定に従う 1:制御動作継続	0
<i>Pos</i>		開度調整	シフトキーを5秒間押すと、自動的に調整開始 <i>Adj</i> 調整終了 <i>oPEN</i> 開(オープン)側調整中 <i>CLoSE</i> 閉(クローズ)側調整中 <i>ERR</i> 何らかの問題でエラーが発生した場合に表示	<i>Adj</i>
<i>Mo f</i>		モーター開閉時間	5~1000秒	10
<i>oLR</i>		積算出力リミッタ	モータ時間の0.0~200.0% 0.0:機能なし	150.0
<i>vAL</i>		STOP時のバルブ動作	0:閉側出力OFF、開側出力OFF 1:閉側出力 ON、開側出力OFF 2:閉側出力OFF、開側出力ON	0
<i>YRS o</i>		開度出力保持機能	0:無効「全閉(全開)の時閉側(開側)出力OFF」 1:有効「全閉(全開)の時閉側(開側)出力 ON」	0

<i>PACF</i>	<i>F_{n57}</i>	プロアクティブ	初期値
<i>bFMSP</i>		ボトム抑制機能	0: 機能なし 0

<i>2PB</i>	<i>F_{n58}</i>	リモート設定	初期値
<i>2PV</i>		用途選択	0: 機能なし 1: リモート設定入力 1

<i>ARER</i>	<i>F_{n70}</i>	メモリエリア機能	初期値
<i>SVRF</i>		設定変化率リミッタ時間	1~3600秒 60
<i>SGDP</i>		ソーク時間単位	0: 0時間00分~99時間59分 1: 0分00秒~199分59秒 2: 0時間00分00秒~9時間59分59秒 1

<i>1. SBL</i>	<i>F_{n71}</i>	設定リミッタ	初期値
<i>1. SLH</i>		設定リミッタ上限	設定リミッタ下限~入力レンジ上限 入力レンジの 上限
<i>1. SLL</i>		設定リミッタ下限	入力レンジ下限~設定リミッタ上限 入力レンジの 下限

<i>SYS</i>	<i>F_{n91}</i>	システム	初期値
<i>DEF</i>		初期化	1225: 初期化実行 この番号以外は無効 0
<i>WF</i>		積算稼働時間	0~65535時間 -
<i>TCU</i>		周囲温度ピークホールドモニタ	-120~120℃ -
<i>ROM</i>		ROMバージョン番号	搭載しているROM番号を表示 -
<i>SX900</i>		型式モニタ	型式コードを表示 (SX900の場合) -
<i>00000</i>		計器番号モニタ	計器番号を表示

11. 入力種類一覧表

12. ご指定いただいていない場合には、入力種類「11nP」はDC4~20mA仕様になっています。温度制御等に変更する場合には、「Fn21」にて変更をお願いします。

代表的な設定は「13」のPt100Ω（測温抵抗体）の他に、以下の入力に対応できます。

設定数値	入力種類	設定可能範囲
0	熱電対 K	- 200.0 ~ 1372.0 °C
1	熱電対 J	- 200.0 ~ 1200.0 °C
2	熱電対 R	- 50.0 ~ 1768.0 °C
3	熱電対 S	- 50.0 ~ 1768.0 °C
4	熱電対 B	0.0 ~ 1800.0 °C
5	熱電対 E	0.0 ~ 800.0 °C
6	熱電対 N	0.0 ~ 1300.0 °C
7	熱電対 T	- 200.0 ~ 400.0 °C
8	熱電対 W5Re/W26Re	0 ~ 2300 °C
9	熱電対 PLII	0.0 ~ 1800.0 °C
10	熱電対 U	- 199.9 ~ 600.0 °C
11	熱電対 L	0.0 ~ 900.0 °C
12	熱電対 PR40-20	0 ~ 1800 °C
13	測温抵抗体 Pt100Ω	- 200.0 ~ 850.0 °C
14	測温抵抗体 JPt100Ω	- 200.0 ~ 640.0 °C
15	電流 DC 0~20 mA	19999 ~ 99999 の範囲内で プログラマブル 小数点位置は任意選択可
16	電流 DC 4~20 mA	
17	電圧 DC 0~10 V	
18	電圧 DC 0~5 V	
19	電圧 DC 1~5 V	
20	電圧 DC 0~1 V	
21	電圧 DC - 10 ~ +10V	
22	電圧 DC - 5 ~ +5V	
23	電圧 DC 0~100 mV	
24	電圧 DC 0~10 mV	

※電流・電圧信号を接続したまま 測温抵抗体を選択すると入力回路が壊れることがあります！

12. 圧力制御・温度制御の設定例

圧力制御用としてご依頼いただいた場合、標準設定として下記の値を入力しております。

条件 圧力トランスミッターのレンジ：0.00~1.00MPaG

必ず、Fn21 から変更を行う必要があります。
上から順番に変更頂く事を推奨しております。

1.1nP	Fn21	入力1	初期値	設定値	
1.1NP		入力種類	16	16	確認
1.UNIT		表示単位	0	-	
1.PGdP		小数点位置	1	2	変更
1.PGSH		入力レンジ上限	100	1.00	変更
1.PGSL		入力レンジ下限	0	0.00	変更
1.PoV		入力異常判断点上限	入力レンジ上限 +5%	1.05	確認
1.PUN		入力異常判断点下限	入力レンジ下限 -5%	-0.05	確認
1.SQR		開平演算 4-20mA入力の時に表示	0	0	
1.INV		反転入力 4-20mA入力の時に表示	0	0	
1.NdF		入力データタイプ	0	0	

2.1nP	Fn22	リモート設定	初期値	設定値	
2.1NP		入力種類 (15ページ参照)	17	16	確認
2.PGdP		小数点位置	1	2	確認
2.PGSH		入力レンジ上限	100.0	1.00	変更
2.PGSL		入力レンジ下限	0.0	0.00	変更

di	Fn23	デジタル入力	初期値	設定値	
di SL1		DI1機能選択(設定可能範囲:0~19)	16	0	変更
di SL2		DI2機能選択(設定可能範囲:0~14)	0	0	
di SL3		DI3機能選択(設定可能範囲:0~14)	0	0	
di SL4		DI4機能選択(設定可能範囲:0~14)	5	0	変更
di SL5		DI5機能選択(設定可能範囲:0~14)	3	0	変更
di SL6		DI6機能選択(設定可能範囲:0~14)	6	0	変更
di INV		DI機能反転	0	0	
di TIM		エリア切換時間	2	2	

Ro1	Fn31	伝送出力1	初期値	設定値	
Ro1		伝送出力1種類	0	0	
RHS1		伝送出力1スケール上限	100	1.00	確認
RLS1		伝送出力1スケール下限	0	0.00	確認

Ro3	Fn33	伝送出力3	初期値	設定値	
Ro3		伝送出力3種類	1	1	
RHS3		伝送出力3スケール上限	100	1.00	確認
RLS3		伝送出力3スケール下限	0	0.00	確認

EH1	F _n 41	イベント1	設定値	
ES1		イベント1種類	1	0 変更
EHo1		イベント1待機動作	0	0
EH1		イベント1動作すきま(ヒステリシス)	0.2	0.2
EVF1		イベント1タイマ	0.0	0

EH2	F _n 42	イベント2	設定値	
ES2		イベント2種類	1	0 変更
EHo2		イベント2待機動作	0	0
EH2		イベント2動作すきま	0.2	0.2
EVF2		イベント2タイマ	0.0	0

EH3	F _n 43	イベント3	設定値	
ES3		イベント3種類	1	0 変更
EHo3		イベント3待機動作	0	0
EH3		イベント3動作すきま	0.2	0.2
EVF3		イベント3タイマ	0.0	0

EH4	F _n 44	イベント4	設定値	
ES4		イベント4種類	1	0 変更
EHo4		イベント4待機動作	0	0
EH4		イベント4動作すきま	0.2	0.2
EVF4		イベント4タイマ	0.0	0

I.Conf	Pn51	制御動作	初期値	設定値	
I.P		比例帯	3.0	20	変更
I.I		積分時間	240	40	変更
I.d		微分時間	60	0	変更
I.RPF		制御応答パラメータ	0	0	
I.PACF		*プロアクティブ強度	2	0	変更
I.oLH		出力リミッタ上限	105.0	105.0	
I.oLL		出力リミッタ下限	-5.0	-5.0	
※SP7型ポジショナを使用する場合は 0.0 以下に設定しないでください。			推奨値	0.0	変更
I.LbA		制御ループ断線警報時間	0	0	
I.Lbd		LBAデッドバンド	0.0	0.0	

KEY	F _n 11	キー操作	初期値	設定値	
SEFKY		データ確定方式選択	0	0	
FNKY		FUNCキー割付	1	5	変更
FNKYF		FUNCキー操作選択	0	1	変更

[変更]は、値を変更する事を指しています。

[確認]は、値が自動的に変更されているか、確認する事を指しています。

温度制御用としてご依頼いただいた場合、標準設定として下記の値を入力しております。

条件 温度センサー：Pt100Ω

被加熱温度帯：0～200℃

必ず、Fn21 から変更を行う必要があります。
上から順番に変更頂く事を推奨しております。

1.1nP	Fn21	入力1	初期値	設定値	
1.1NP		入力種類	16	13	変更
1.UNIF		表示単位	0	0	
1.PGdP		小数点位置	0	1	変更
1.PGSH		入力レンジ上限	850	200.0	変更
1.PGSL		入力レンジ下限	-200	0.0	変更
1.PoV		入力異常判断点上限	入力レンジ上限 +5%	210.0	確認
1.PUN		入力異常判断点下限	入力レンジ下限 -5%	-10.0	確認
1.SGR		開平演算 4-20mA入力の時に表示	0	-	
1.INV		反転入力 4-20mA入力の時に表示	0	-	
1.NdF		入力データタイプ	0	0	

2.1nP	Fn22	リモート設定	初期値	設定値	
2.1NP		入力種類 (15ページ参照)	17	16	
2.PGdP		小数点位置	0	1	確認
2.PGSH		入力レンジ上限	850	200.0	変更
2.PGSL		入力レンジ下限	-200	0.0	変更

di	Fn23	デジタル入力	初期値	設定値	
di.SL1		DI1機能選択(設定可能範囲:0~19)	16	0	変更
di.SL2		DI2機能選択(設定可能範囲:0~14)	0	0	
di.SL3		DI3機能選択(設定可能範囲:0~14)	0	0	
di.SL4		DI4機能選択(設定可能範囲:0~14)	5	0	変更
di.SL5		DI5機能選択(設定可能範囲:0~14)	3	0	変更
di.SL6		DI6機能選択(設定可能範囲:0~14)	6	0	変更
di.INV		DI機能反転	0	0	
di.FIM		エリア切替時間	2	2	

Ro1	Fn31	伝送出力1	初期値	設定値	
Ro1		伝送出力1種類	0	0	
RHS1		伝送出力1スケール上限	850	200.0	確認
RLS1		伝送出力1スケール下限	-200	0.0	確認

Ro3	Fn33	伝送出力3	初期値	設定値	
Ro3		伝送出力3種類	1	1	
RHS3		伝送出力3スケール上限	850	200.0	確認
RLS3		伝送出力3スケール下限	-200	0.0	確認

EH1	Fn41	イベント1	設定値	
ES1		イベント1種類	1	0 変更
EHo1		イベント1待機動作	0	0
EH1		イベント1動作すきま(ヒステリシス)	0.2	0.2
EVF1		イベント1タイマ	0.0	0

EH2	Fn42	イベント2	設定値	
ES2		イベント2種類	1	0 変更
EHo2		イベント2待機動作	0	0
EH2		イベント2動作すきま	0.2	0.2
EVF2		イベント2タイマ	0.0	0

EH3	Fn43	イベント3	設定値	
ES3		イベント3種類	1	0 変更
EHo3		イベント3待機動作	0	0
EH3		イベント3動作すきま	0.2	0.2
EVF3		イベント3タイマ	0.0	0

EH4	Fn44	イベント4	設定値	
ES4		イベント4種類	1	0 変更
EHo4		イベント4待機動作	0	0
EH4		イベント4動作すきま	0.2	0.2
EVF4		イベント4タイマ	0.0	0

I.Conf	Pn51	制御動作	初期値	設定値	
I.P		比例帯	3.0	5	変更
I.I		積分時間	240	40	変更
I.d		微分時間	60	0	変更
I.RPF		制御応答パラメータ	0	0	
I.PACT		*プロアクティブ強度	2	0	変更
I.oLH		出力リミッタ上限	105.0	105.0	
I.oLL		出力リミッタ下限	-5.0	-5.0	
※SP7型ポジショナを使用する場合は 0.0 以下に設定しないでください。			推奨値	0.0	変更
I.LbA		制御ループ断線警報時間	0	0	
I.Lbd		LBAデッドバンド	0.0	0.0	

KEY	Fn11	キー操作	初期値	設定値	
SEFKY		データ確定方式選択	0	0	
FNKY		FUNCキー割付	1	5	変更
FNKYF		FUNCキー操作選択	0	1	変更

[変更]は、値を変更する事を指しています。

[確認]は、値が自動的に変更されているか、確認する事を指しています。

13. メモリエリア切換機能

FN23 メモリエリア切換

DI端子の短絡(クローズ)/開放(オープン)の組み合わせで、最大16のエリアを使用できます。

※エリア切換設定は、DI1でのみ有効です。

※エリア切換に割り当てると、切換に使用するDI端子に、RUN/STOPやオート/マニュアルの切換機能を割り当てても、その設定は無効となり、エリア切換機能が優先されます。

メモリエリアNo.	DI1	DI2	DI3	DI4
*1	—	—	—	—
*2	○	—	—	—
3	—	○	—	—
4	○	○	—	—
5	—	—	○	—
6	○	—	○	—
7	—	○	○	—
8	○	○	○	—
9	—	—	—	○
10	○	—	—	○
11	—	○	—	○
12	○	○	—	○
13	—	—	○	○
14	○	—	○	○
15	—	○	○	○
16	○	○	○	○

— : 開放 (オープン)

○ : 短絡 (クローズ)

※DI接点端子使用領域

*数字	エリア 2点の場合
	エリア 8点の場合
	エリア16点の場合

○が使用する端子
空白の端子は他の用途に使用可能

DI1機能選択	27:COM	28:DI1	29:DI2	30:DI3	31:DI4	32:DI5
15 : エリア切換 (2点 SET 信号なし)	○	○				
16 : エリア切換 (8点 SET 信号なし)	○	○	○	○		
17 : エリア切換 (8点 SET 信号あり)	○	○	○	○	SET	
18 : エリア切換 (16点 SET 信号なし)	○	○	○	○	○	
19 : エリア切換 (16点 SET 信号あり)	○	○	○	○	○	SET

* SET 信号なしの場合

L/E モード切換設定で、E : エクスターナルを選択すると短絡/開放で切り換わります。

* SET 信号ありの場合の切換方法

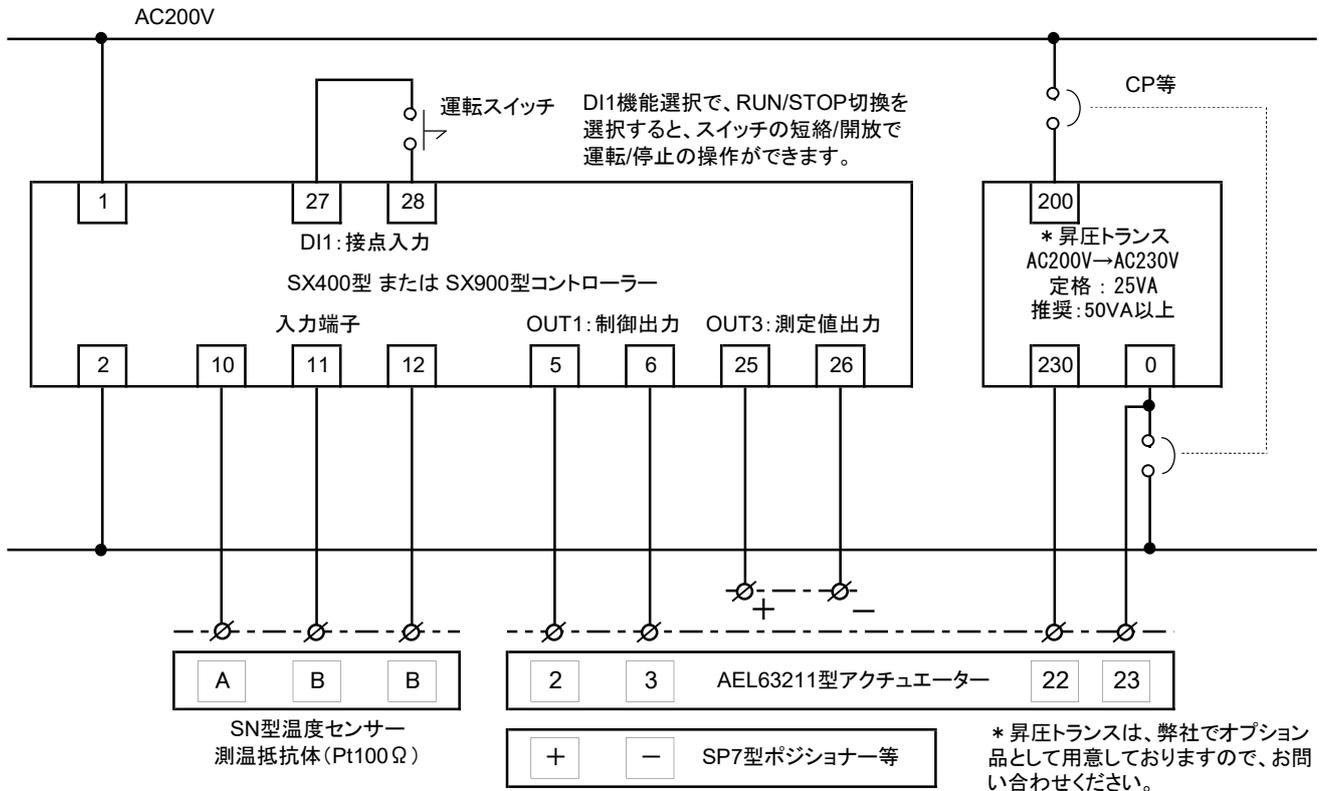
「17」の8点を選択した場合は[DI4]、「19」の16点を選択した場合は[DI5]を短絡します。

この時のDI4またはDI5は、短絡/開放の組み合わせによるエリアNo.を指定するセットボタンとなります。

このDI4またはDI5を短絡している間は、エリアNo.の組み合わせを変更しても無視されます。

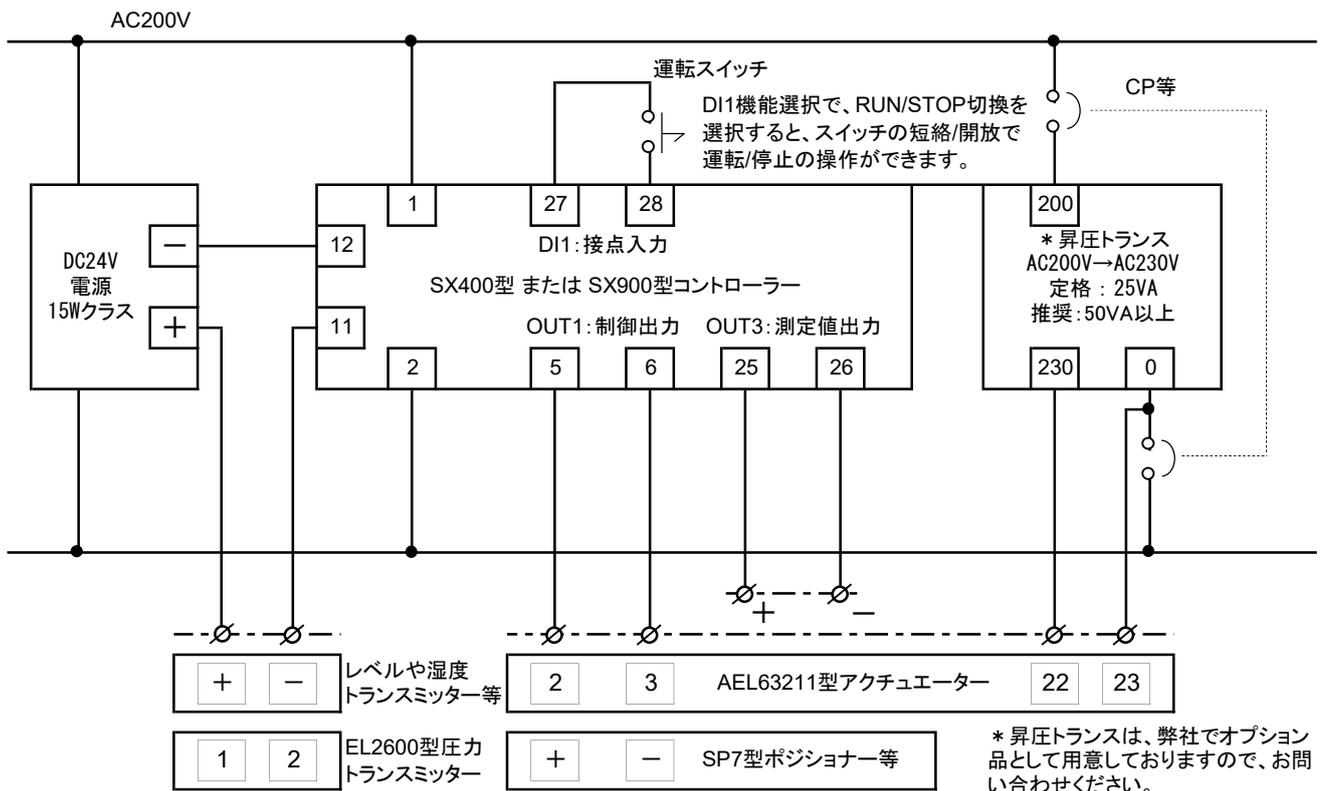
14. 基本的な結線例

一般的な测温抵抗体を使った温度制御の場合



2線式計器を入力とするアプリケーション例

空圧弁を使った圧力制御、または電動弁を使った水位(レベル)や湿度制御などの場合

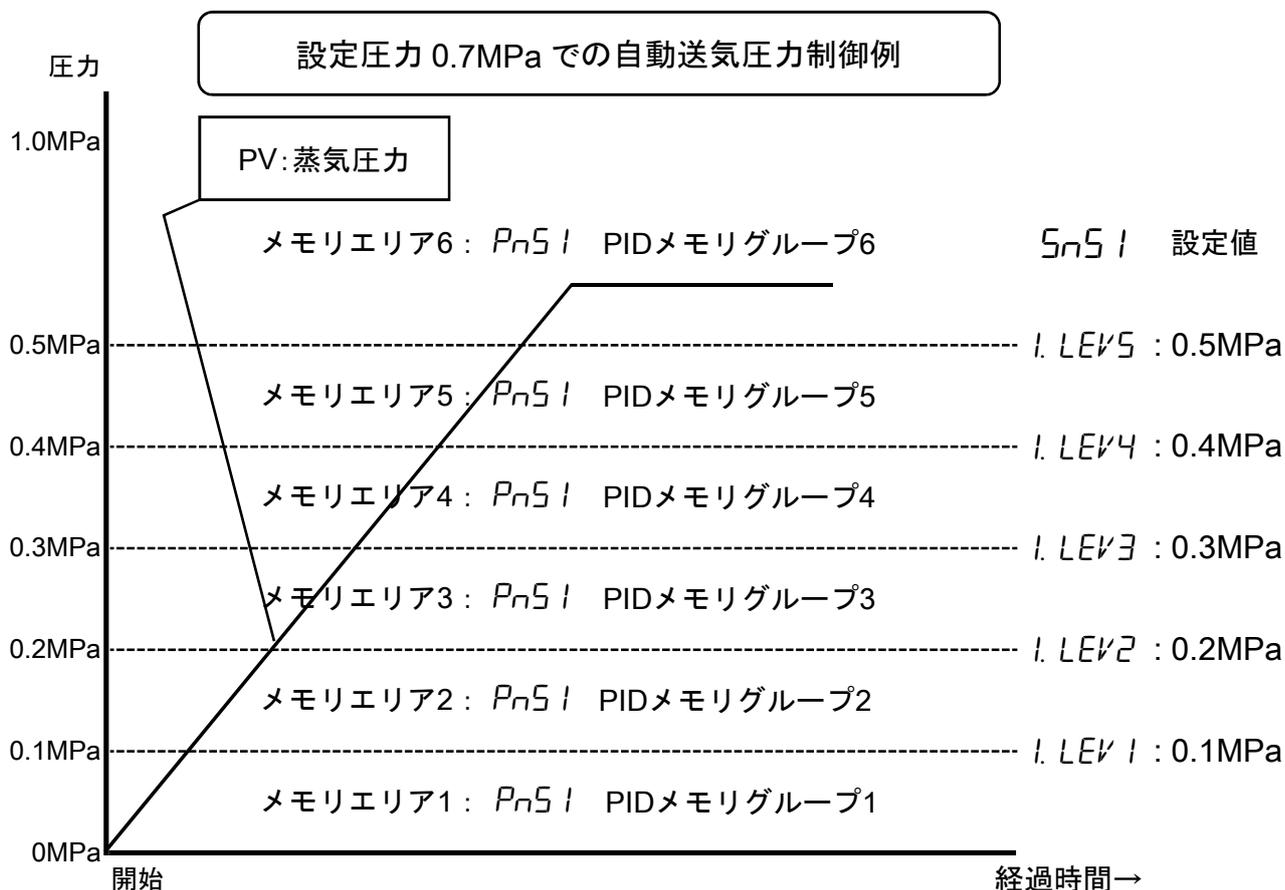


14. 自動送気制御の設定例

①<RUN / STOP>を STOP にしておきます。

②レベルPID動作選択を「メモリエリア番号による切換」にしておきます。

<i>l. Conf</i>	<i>Fn51</i>	制御動作	設定値
<i>l. LPI d</i>	レベルPID動作選択	0 : メモリエリア番号による切換	0



③上記の制御パターンに沿って、メモリエリアごとに設定値 (SV = 0.70) とPIDメモリグループの設定をします。

Fn51 で、メモリエリア番号による切換を選択しないと、エリアごとの設定ができません。

<i>l. Conf</i>	<i>Pn51</i>	制御動作	エリア1	エリア2	エリア3	エリア4	エリア5	エリア6
<i>l. P</i>		比例帯	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
<i>l. I</i>		積分時間	40	40	40	40	40	40
<i>l. d</i>		微分時間	0	0	0	0	0	0
<i>l. RPF</i>		制御応答パラメータ	0	0	0	0	0	0
<i>l. PRCF</i>		プロアクティブ強度	0	0	0	0	0	0
<i>l. oLH</i>		出カリミッタ上限	2.0	3.0	4.0	5.0	10.0	105.0
<i>l. oLL</i>		出カリミッタ下限	-5.0	-5.0	-5.0	-5.0	-5.0	-5.0
<i>l. LbA</i>		制御ループ断線警報時間	0	0	0	0	0	0
<i>l. Lbd</i>		LBAデッドバンド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

出カリミッタの上限値を徐々に上げて蒸気配管の暖気制御を行います。

④レベルPID動作選択を測定値(PV)による切換に変更し、動作すきまも設定します。

1. Conf	Fn5 1	制御動作	設定値
1. LPI d	レベルPID動作選択	2: 測定値 (PV) による切換 (レベルPID)	2
1. LHS	レベルPID動作すきま	すきま = ヒステリシス (実際の数値を設定)	0.02等

⑤レベルPID設定を行います。

Sn5 1 1. LEV 1 ~ 1. LEV 5 に切り換えるポイント(この場合、0.1MPa ~ 0.5MPa)を設定します。

1. Conf	Sn5 1	制御動作 (レベルPID設定)	
1. MMV	マニュアル操作出力値	—	
1. LEV 1	レベルPID設定1	0.10	} レベルPIDの切り換え圧力を設定
1. LEV 2	レベルPID設定2	0.20	
1. LEV 3	レベルPID設定3	0.30	
1. LEV 4	レベルPID設定4	0.40	
1. LEV 5	レベルPID設定5	0.50	
1. LEV 6	レベルPID設定6	1.00	この場合、0.5MPaを超えたらエリア6のPIDパラメータ「Pn5 1」での通常設定による制御となります。
1. LEV 7	レベルPID設定7	1.00	

⑥<RUN / STOP>を RUN にすれば、制御開始となります。

ワンポイント・アドバイス



エリア設定している場合などに、エリア = AREA の数値を変更する場合、MV表示の最大桁の数値が点滅している時に<MODE> ボタンを押すとエリア表示部に点滅が移動します。更に<MODE> ボタンを押すとMV表示部に移行します。

お問い合わせは下記営業所もしくは取扱い代理店までお願いいたします。

本社・イーストジャパン・ノースジャパン

■電話

技術サポート：043-274-4819
ご注文・お問合せ：043-274-4811

■FAX

(043) 274-4818

■住所

〒261-0025 千葉市美浜区浜田2-37

ウエストジャパン

■電話

ご注文・お問合せ：06-6681-8921

■FAX

(06) 6681-8925

■住所

〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋2-11-8
北加賀屋千島ビル203号

取扱説明書の内容は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

spirax
/sarco

First for Steam Solutions

EXPERTISE | SOLUTIONS | SUSTAINABILITY

spirax
/sarco